

審査結果の要旨

報告番号	甲 第 1287 号	氏名	小原 仁
審査担当者	主査 古川 恭治 (印) 副主査 齋 藤 裕 (印) 副主査 島 村 拓司 (印)		
主論文題目： 医事会計システムへの実装を志向したがん登録症例を識別する統計モデルの開発： 多施設共同研究			

審査結果の要旨（意見）

全国がん登録事業の開始により、医療機関等からのがん症例の届け出が義務化される一方で、各医療機関においてがん登録対象となる症例を選別することは容易でなく、大きな負担となっている。本研究は、診療行為実績等の医療情報を基にがん登録症例を識別する統計モデルを開発し、その識別精度を詳細に検証している。慎重に選択された識別モデルは、評価用データに対し、感度、特異度ともに 90%前後と高い識別能力を示し、がん登録の症例検索の 82%を除外できている。今後、本モデルをさらに改善し、がん登録症例仕分けをシステム化することにより、がん登録担当実務者の作業負担が軽減され、予後調査の分析や活用などより付加価値の高い業務割合が増加することが期待される。よって、本論文の結果や内容は、がん医学研究に貢献するものであり、博士号に十分に値するものと評価できる。

論文要旨

2016年1月から施行された全国がん登録事業では、医療機関等からの症例の届出を義務化することで、高い悉皆性を期待できるがん情報の収集が可能となった。しかしながら、がん登録症例の届出を行う医療機関では、多くの外来や入院患者のなかから効率よくがん登録症例を検索することは容易ではない状況にある。そこで本研究では複数施設の医事会計システムから取得した診療情報をもとに、がん登録症例を効率的に識別する統計モデルの開発と開発した識別モデルの判別能の評価を試みた。開発したモデルを未知となる評価用データセットに適用した判別能(95%信頼区間)は、感度 92.0%(90.5%–93.3%)、特異度 89.1%(88.7%–89.6%)の精度で、がん登録の検索対象となる症例のうち 82.2%を除外できた。保険診療を行う多くの施設で取得可能な診療情報をもとに開発した本識別モデルは、がん登録の症例検索に係る判別作業の効率化を期待できる。